

V-PAD DIGITAL
SNARE

PD-140DS

取扱説明書

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

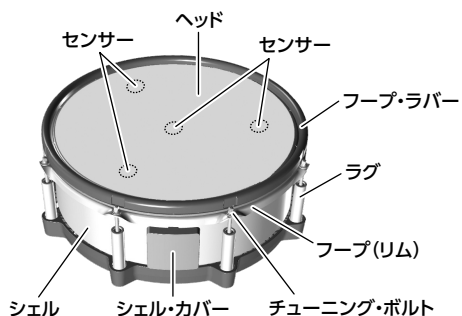


V-Drums

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」(P.6)をよくお読みください。
お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2016 ローランド株式会社

各部の名称



ご注意!

- ヘッド下にあるセンサーに無理な力をかけないでください。打撃を正しく感知できなくなったり、センサーを破損したりすることがあります。
- センサーの素材の性質上、気温、湿度の変化によってヘッドの打感触やセンサーの感度が変わることがあります。

スネア・スタンドに取り付ける

PD-140DS は、市販のスネア・スタンドに取り付けて使用してください。

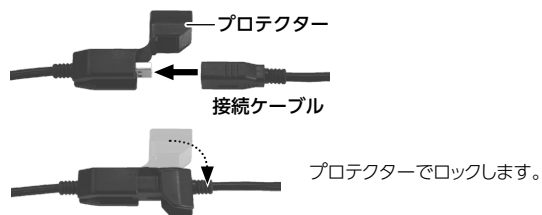
※ 必ず 14 インチのスネアに対応した、スネア・スタンドをお使いください。



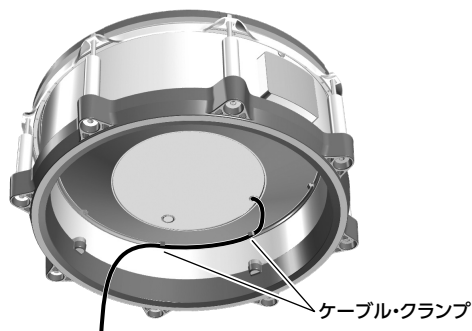
ドラム音源と接続する

デジタル接続に対応した、ローランド製のドラム音源をお使いください。

1. PD-140DS の DIGITAL TRIGGER OUT 端子に、接続ケーブルのプラグを差し込みます。



ケーブルは、図のようにケーブル・クランプ (8 箇所) を使って固定することができます。



2. ドラム音源の DIGITAL TRIGGER IN 端子に、接続ケーブルのプラグを差し込みます。
3. ドラム音源側で、PD-140DS を使うための設定をします。

※ 詳しくは、ドラム音源の取扱説明書をご覧ください。

推奨パラメーター設定

PD-140DS とドラム音源の初回接続時は、トリガー・パラメーターに推奨値が設定されます。

PD-140DS の取り付けかたやセッティングする位置など、使用される環境によって、トリガー・パラメーターの調整が必要な場合があります。

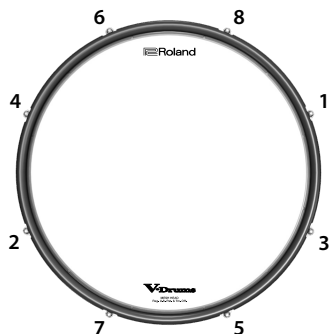
設定方法は、各音源の取扱説明書をご覧ください。

ヘッドの張り具合を調節する

ご使用になる前に、必ずヘッドの張り具合を調節してください。張り具合は、アコースティック・ドラムの打感触と同じくらいが適切です。

誤動作の原因となりますので、以下の点に注意してください。

- ヘッドにたるみがないように調節してください。
- チューニング・ボルトにがたつきがないように調節してください。



1. それぞれのチューニング・ボルトを少しずつ、図のように対角線を結ぶ順に調節してください。

※ 1箇所チューニング・ボルトを一度に強く締めないでください。ヘッドを均一に張れないため、適切な打感触が得られなくなるだけでなく、誤動作や故障の原因にもなります。

2. ヘッドの張り具合が均等になるように、各チューニング・ボルトの締め具合を調整します。

メモ

- ヘッドの張り具合の調節は打感触の調節をするもので、アコースティック・ドラムのように音の高さ（ピッチ）を調節するものではありません。ピッチは、ドラム音源の音色エディットで調節します。詳しくは、使用するドラム音源の取扱説明書をご覧ください。
- 長く使っているとヘッドの張り具合が変わってくることがあります。必要に応じて調節しなおしてください。

ヘッド、フープ・ラバーの交換

ヘッドやフープ・ラバーは、使っている年月とともに性能が劣化する消耗部品です。ヘッド面やフープ・ラバーが破れたり、ヘッドの張り具合を正しく調節してもヘッド面にたるみが残ったりするような場合は、ヘッドやフープ・ラバーを交換してください。交換用ヘッドのお求めやフープ・ラバーの交換は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにお問い合わせください。

ヘッドを交換する

ご注意！

ヘッドの下にあるセンサーに無理な力をかけないでください。打撃を正しく感知できなくなったり、破損したりすることがあります。

1. すべてのチューニング・ボルトを取り外します。
それぞれ、少しずつ反時計方向に回してゆるめてください。
2. フープと古いヘッドを取り外します。



3. 新しいヘッドとフープをシェルにのせます。
4. チューニング・ボルト 8 個をすべて取り付けます。
※ 各ボルトには、ワッシャーが 2 個付いています。
5. ヘッドの張り具合を調節します。
「ヘッドの張り具合を調節する」参照。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

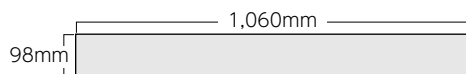
カバリングを取り付ける場合

カバリングを用意していただくと、シェルのデザインをお好みのデザインにカスタマイズすることができます。以下の手順で取り付けてください。
※ プラス・ドライバーをご用意ください。

カバリングのサイズ

オリジナルのカバリングを取り付ける場合は、以下のサイズのものが利用できます。

98 (幅) × 1,060 (長さ) mm、厚さ: 1mm 以内



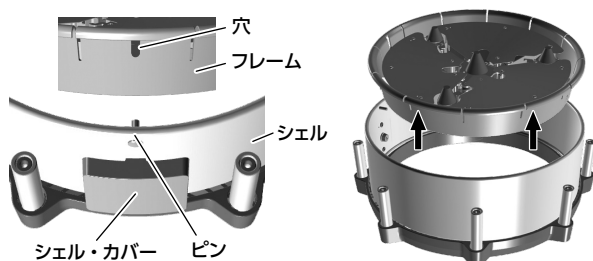
ご注意!

- ヘッドの下にあるセンサーに無理な力をかけないでください。打撃を正しく感知できなくなったり、破損したりすることがあります。
- 金属部品の角や先端で指などでけがをしないように、十分にご注意ください。

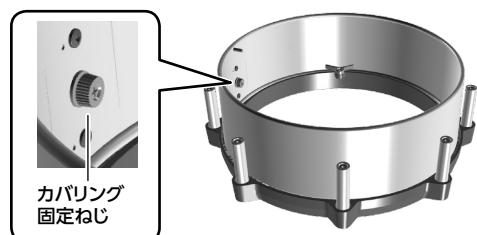
1. すべてのチューニング・ボルトをゆるめ、フープとヘッドを取り外します。



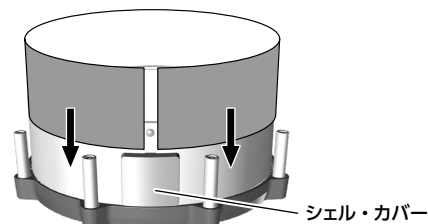
2. フレームの穴をシェルのピンから抜くようにして、フレームを取り外します。



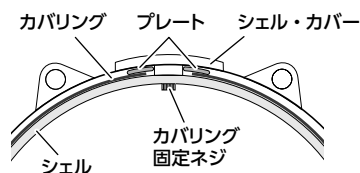
3. カバリング固定ネジを、プラス・ドライバーで2回転ほどゆるめます。



4. カバリングをはめ込みます。



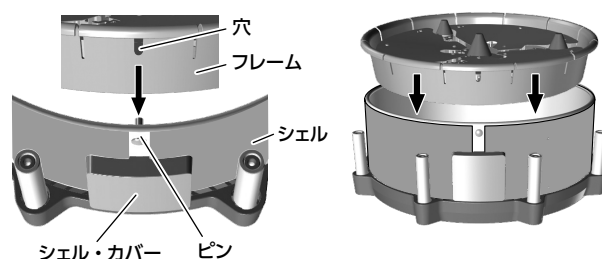
カバリングの両端は、シェルとプレートの間にはさめます。



5. 全体にたるみがないように、カバリングの両端を引っ張りながら、カバリング固定ネジを手で仮り締めします。

6. ドライバーで、カバリング固定ネジを締めます。

7. フレームの穴をシェルのピンに差し込むようにしてフレームの位置を合わせ、フレームをシェルにはめ込みます。



※ フレームが、確実にシェルにはまっているかを確認してください。

8. フープとヘッドを取り付けて、チューニング・ボルトを締めます。

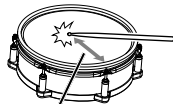
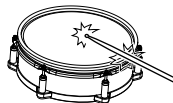
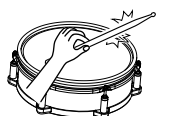
9. ヘッドの張り具合を調節します。 「ヘッドの張り具合を調節する」(P.3) 参照。

奏法について

ドラム音源によって、各奏法への対応が異なります。詳しくは、ドラム音源の取扱説明書をご覧ください。

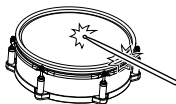
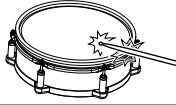
ご注意！

- 木製や樹脂製のスティックをお使いください。カーボン製や金属製のスティックを使うと、センサーが誤動作することがあります。
- ナイロン製のブラシをお使いください。金属製のブラシを使うと、センサーが誤動作したりパッドを傷つけたりすることがあります。

奏法	説明
ヘッド・ショット 	ヘッド部を叩きます。 特定のスネア音色では、ヘッドの中心から外周部にかけて叩いた位置の違いによって、自然な音色変化が得られます。
リム・ショット 	ヘッド部とリム部を同時に叩きます。 ヘッド・ショット時とは異なる音色（リム音色）が鳴ります。
クロス・スティック奏法 	ヘッドに手を置きながらリム部を叩きます。 スネア音色では、リム・ショット奏法時にはリム音色、クロス・スティック奏法時にはクロス・スティック音色というように、各奏法に対応した音色を鳴らし分けることができます。 ※ 一部のスネア音色では、音色の鳴らし分けができない場合があります。
ブラシ奏法 	ブラシでこする表現（ブラシ・スイープ奏法）ができます。

リム・ショットのニュアンスによる音色変化

特定のスネア音色やタム音色では、リム・ショットの微妙な叩きかたの違いによって音色のニュアンスが変化します。

奏法	説明
通常のリム・ショット (オープン・リム・ショット) 	ヘッド中心部とリム部を同時に叩きます。
浅いリム・ショット (シャロウ・リム・ショット) 	ヘッドのリムに近い部分とリム部を同時に叩きます。

主な仕様

ローランド PD-140DS：V パッド・デジタル・スネア

パッド・サイズ	14 インチ
シェル深さ	4.3 インチ
テンション数	8
ヘッド	3 プライ・メッシュ・ヘッド
トリガー	2（ヘッド、リム）
接続端子	DIGITAL TRIGGER OUT 端子 (DIGITAL TRIGGER IN 端子を装備したローランド製ドラム音源と互換性があります)
電源	DIGITAL TRIGGER バスから取得 (DC5V)
消費電流	90mA
外形寸法	380 (幅) × 380 (奥行) × 160 (高さ) mm
質量	4.9kg
付属品	取扱説明書、接続ケーブル、ドラム・キー、保証書

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

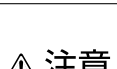
Português

Nederlands

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

△警告と△注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家具・ベッドにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	○は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、○の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を必ず守ってください

警告

分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。



個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



次のような場所で使用や保管はしない

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ぼこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所
- 風通しの悪い場所



警告

スタンドへ設置するときの注意

取扱説明書の指示どおりに設置してください(P.2)。



正しく設置しないと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。

異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花瓶など）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。



警告

異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに電源を切つて、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。



- 煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合やお子様を使用する場合、必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損や故障の原因になります。



注意

スタンドを使う前に安全を確認する

取扱説明書に記載の注意事項が守られていても、取り扱いによってはスタンドから本機が落下したりスタンドが転倒したりする可能性があります。使用にあたっては事前に安全を確認した上でお使いください。



電源コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

足に引っかけると、本機の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。



上に乗ったり、重いものを置いたりしない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



移動するときはすべての接続をはずす

ケーブルを接続したまま移動すると、破損や故障の原因になります。



小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪戯で飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



取りはずしが可能な部品

- ネジ
- ワッシャー類

使用上のご注意

設置について

- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- お客様が本機または付属品を分解（取扱説明書に指示がある場合を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 本機は、演奏時の打撃音を小さくする設計になっていますが、床や壁を通じての振動は意外によく伝わります。特にヘッドホン使用時の演奏は、隣近所に迷惑がかけられないように注意しましょう。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。
- 打面部のゴム部品には、性能維持のために劣化防止剤などを塗布してあります。時間経過に伴い、これらの添加剤が表面に現れて、白く汚れたように見えたり、製品検査時のスティック痕が見えたりする場合がありますが、製品の性能や機能には影響ありませんので、安心してお使いください。
- ご使用の年月とともに、パッドのゴム表面が変色することがありますが、使用上影響はありません。

知的財産権について

- MMP (Moore Microprocessor Portfolio) はマイクロプロセッサのアーキテクチャーに関するTPL (Technology Properties Limited) 社の特許ポートフォリオです。当社は、TPL 社よりライセンスを得ています。
- Roland、V-Drums は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の商標、または登録商標です。
- 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

お問い合わせの窓口



ホームページをご覧ください

Q&A、チャットサポート、メール、電話でのお問い合わせ

Roland製品

https://roland.cm/roland_support

BOSS製品

https://roland.cm/boss_support



'21. 04. 01 現在